

## 短歌

著者	谷，俊夫
雑誌名	龍南
巻	2 2 4
ページ	3 7 - 3 7
発行年	1933-03-02
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2298/7110">http://hdl.handle.net/2298/7110</a>



文二甲三

谷

俊

夫

やつと着きし釜山の港よちらほらと粉雪まざり人の行きかふ

今日からは六月なりき膳の上に南瓜の料理二品のぼりぬ

黄ばみたる土乾くなる音聞ゆかなめの畑に晝の陽が照る